



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023 年 6月 15日

尼崎市長 殿

提出者

住所 兵庫県尼崎市中浜町19番地

氏名 日亜鋼業株式会社 代表取締役社長 大西利典

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6416-1026

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	の	名	称	日亜鋼業株式会社
事	業	場の) 所	在	地	尼崎市中浜町19番地
計		画	期		間	2023年4月1日から2024年3月31日
当記	亥事弟	美場に:	おいて	て現に	行。	っている事業に関する事項
	①事	4業の種	重類			2240 表面処理鋼材製造業
	②事	業の規	規模			製造品出荷額 19,087百万円 (2022年度)
	③彼	羊業員	数			324人 (2022年3月31日時点)
		≦業廃∄ □理の□)一連		別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係	る管理体制に関する事項								
(管理体制図)									
別紙のとおり									
産業廃棄物の排出の抑	制に関する事項								
	【前年度(令和 3年度	E) 実績】							
	産業廃棄物の種類								
		一 別紙のとおり t							
			t						
①現状	(これまでに実施した取塩ビ・プラスチック類リ								
	温に・ノノヘナック類リ	リイクル処理の推進。							
	【目標】								
	産業廃棄物の種類								
		別紙のとおり							
	排出量 		t						
②計画	(今後実施する予定の取組)								
	温ヒ・フラステック類リ	Iビ・プラスチック類リサイクル処理の推進。							
産業廃棄物の分別に関	する事項								
		等物の種類及び分別に関する取組)							
	廃プラスチックの廃棄場所を廃プラ (混合)・ビニール・塩ビ・ ガラスに分け廃棄物を分別している								
①現状	ガラスに分け廃棄物を分別している。								
	(今後分別する予定の産	業廃棄物の種類及び分別に関する時	 反組)						
		廃棄場所を廃プラ(混合)・ビニ	ール・						
②計画	塩ビガラス屑に分けて分	別を徹底する。							

自ら	行う産業廃棄物の	再生利用に関する事項									
	and the second s	【前年度(令和 3年度)実績】								
		産業廃棄物の種類	e a de seculo de la compansión de la compa	1							
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり	t	t						
	①現状	(これまでに実施した取 特になし	組)								
		【目標】									
		産業廃棄物の種類		1							
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	一 別紙のとおり	t	t						
	②計画	(今後実施する予定の取 特になし	組)								
自身	っ行う産業廃棄物の	中間処理に関する事項	Magazina I i i i i i i i i i i i i i i i i i i								
		【前年度(令和 3年度)実績】								
	emilia piantai king terpet make piat in milia di sa	産業廃棄物の種類		1							
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	── 別紙のとおり 	t	t						
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	y January and	t	t						
300.400		(これまでに実施した取 排水処理施設から発生す 脱水による排出低減を図	るスラリー量の抑	間は困難で	はあるが、						
		【目標】									
		産業廃棄物の種類		7							
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙のとおり	t	t						
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		t	t						
		(今後実施する予定の取 引続き排水処理施設から が、脱水による排出低減	発生するスラリー	-量の抑制は	困難ではある						

自ら行う産業廃棄物	物の埋立処分又は海洋投入処分	に関する事項		1.0000000000000000000000000000000000000					
	【前年度(令和 3年度) 実績】							
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり	t	t					
①現状	(これまでに実施した取 特になし	組)							
	【目標】								
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙のとおり	t	t					
②計画	(今後実施する予定の取 特になし	(今後実施する予定の取組)							
産業廃棄物の処理の	の委託に関する事項								
	【前年度(令和 3年度)実績】							
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量		t	t					
	優良認定処理業者への 処理委託量] t	t					
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	t	t					
①現状	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t					
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t					
	(これまでに実施した取 リサイクルを積極的に推 予防を推進してきた。		・ 対用と環境汚染	Ø.					

(第5面

	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	
②計画	(今後実施する予定の)		4.4.I m. 1
②計画	(今後実施する予定の)	積極的に推進し、資源の有効	効利用と
②計画	(今後実施する予定の) 引続き、リサイクルを	積極的に推進し、資源の有効	効利用と
②計画	(今後実施する予定の) 引続き、リサイクルを	積極的に推進し、資源の有効	動利用と
②計画	(今後実施する予定の) 引続き、リサイクルを	積極的に推進し、資源の有効	か利用と

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

籔線工場では落石防護網、養魚用金網、一般フェンス等の原材料を主に製造しています。 又、加工工場では自動車用部品(リクライニングシート用バネ材、ワイパーブレード)等を 主に製造しています。

- 1) 製造等フローシート 別紙1参照
- 2) 工場配置図
- 2) 工物配直図 別紙2参照 3) 廃棄物処理フローシート 別紙3参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

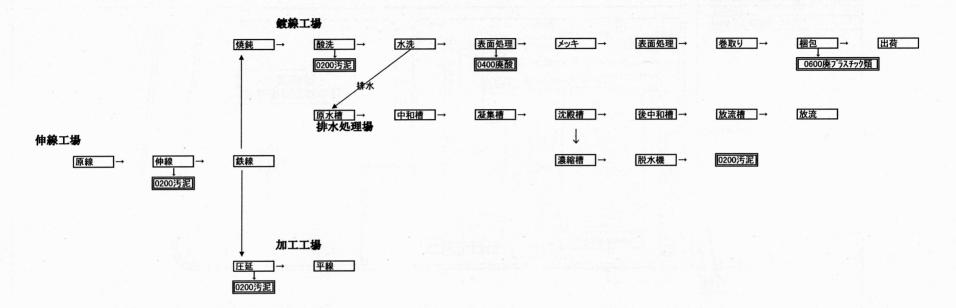
統括責任者		職名:設備部課長
廃棄物担当		担当部署:設備部 組織人数:21名
	廃棄物処理 統括責任者	・廃棄物処理方針策定 ・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
役割	廃棄物処理 担当者	 ・廃棄物処理計画の作成 ・廃棄物管理状況の把握 ・廃棄物処理施設の運転、維持管理 ・廃棄物処理業者の選定、管理 ・委託契約の締結 ・産業廃棄物及び特別産業廃棄物管理票の交付、管理 ・官庁への各種報告

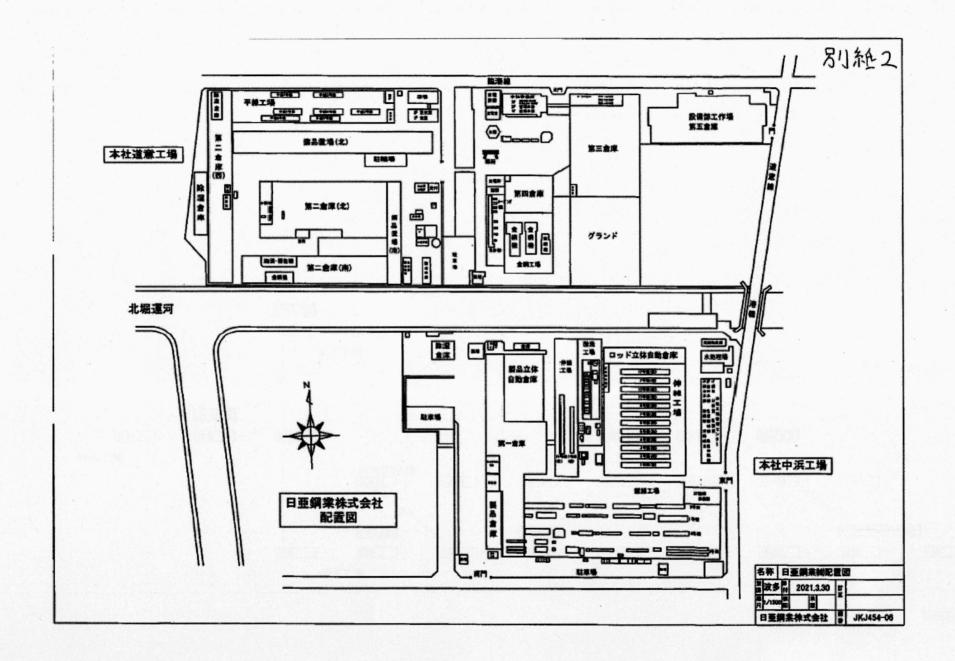




産業廃棄物の排出の抑制に関する	争埧							
)現状 前年度(2022年度)実績 産業廃棄物の種類	0200年記	0300廃油	0400底酸	0600廃プラスチック類	0800本くず(パレット)	1300かラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	05000家アルカリ	合計(単位:t)
排出量(単位:t)	3988.3	23	13.2	24.8	5.8	10.3	0	4065.4
計画 目標	0000.0		70.2					
産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300かうスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
排出量(単位:t)	3950	21	10	23	5	9	0	4018
自ら行う産業廃棄物の再生利用にB)現状 前年度(2022年度)実績	間する事項							
産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300かうスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(単位:t)		0	0	.0	0	0	0	0
2. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.		7						
)計画 目標 産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300かラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
ら再生利用を行う産業廃棄物の量(単位:t)	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に り現状 前年度(2022年度)実績		I				1.000L*T=(-M* b)	0500#7###	I A BI (M / L .
産業廃棄物の種類		0300廃油	0400)発酸	0600廃プラスチック類 0	0800木くず(パレット) 0	1300かラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ 0	合計(単位:t) 0
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量(単位:t)	0	0	0	U		<u> </u>	U	
産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300かうスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	
ら中間処理により減量した産業廃業物の量(単位:t)	3590.5	0	0	0	0	0	0	3590.5
計画目標	Langa'T'D	Laccort	0 400 FE EA	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300かラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500摩アルカリ	I A BL (NY / L .)
産業廃棄物の種類 自ら熟回収を行う産業廃棄物の量(単位:t)		0300廃油	0400発酸	0600度ノラスナック領	08001(107)	1300カラスくす、コングリートくす及び陶磁器くす	0500/96/10/09	0
16系回収を行う産果廃棄物の重(単位:0)				<u> </u>		<u> </u>	•	
産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300かうスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量(単位:t)	3590.5	0	0	0	0	0	0	3590.5
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又に D現状 前年度(2022年度)実績 産業廃棄物の種類 由も単立場けなは海球RA&の発行った倉庫県国内を単位心	0200汚泥		る事項 0400廃酸 0	<u>0600廃プラスチック類</u> 0	0800木くず(パレット) 0	1300かラスくず、コンクリートくず及び胸磁器くず	0500廃アルカリ 0	合計(単位:t) 0
7軒型 日福		Loopontru	0400廢除	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300かラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位・+)
	0200活泥	1 ()3()()()()()()()					- 3001/6/ 18/4/	
産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0	0	0	0	0	0
車ら増立窓分スに第78入島分を行う産商務票券の東 (単位・) を業廃棄物の処理の委託に関する ○現状 前年度(2022年度)実績	事項	0	Ö	0	0	and the second s		
産業廃棄物の種類 自立項取扱がXH海H級入局がまける自島農物の東洋住心 企業廃棄物の処理の委託に関する つ現状 前年度(2022年度)実績 産業廃棄物の種類	事項 0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0 0600廃プラスチック類	0 0800木くず(パレット)	1300かラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t
産業廃棄物の種類 6-9世級が以降は対象の種類 全業廃棄物の処理の委託に関する の現状 前年度(2022年度)実績 産業廃棄物の種類 全処理委託量(単位:t)	事項 0200汚泥 397.8	0300廃油	0 0400廃酸 13.2	0 0600廃フ [*] ラスチック類 24.8	0 0800木くず(パレット) 5.8	1300かラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃7ルカリ 0	合計(単位:t
産業廃棄物の種類 6-単立助ソメ北端ボラス南がまける農島無助の東地位・0 在業廃棄物の処理の委託に関する)現状 前年度(2022年度)実績 産業廃棄物の種類 企業廃棄物の種類 全処理委託量(単位:t) 食息股定処理素者への処理委託量(単位:t)	事項 0200汚泥 397.8 397.8	0 0300廃油 23 23	0 0400廃酸 13.2 13.2	0 0600廃プラスチック類 24.8 24.8	0 0800木くず(パレット) 5.8 5.8	1300かラスくず、コンケリートくず及び陶磁器くず 10.3 10.3	0500廃アルカリ 0 0	合計(単位:t 474.9 474.9
産業廃棄物の種類 6-9年2時2年第7度2月 (日本年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年	事項 0200汚泥 397.8 397.8 0	0300廃油	0 0400廃酸 13.2	0 0600廃フ [*] ラスチック類 24.8	0 0800木くず(パレット) 5.8	1300かラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃7ルカリ 0	合計(単位:t) 474.9

産業廃棄物の種類	0200汚泥	0300廃油	0400廃酸	0600廃プラスチック類	0800木くず(パレット)	1300かうスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0500廃アルカリ	合計(単位:t)
全処理委託量(単位:t)	390	21	10	23	5	9	0	458
優良認定処理業者への処理委託量(単位:t)	390	21	10	23	5	9	0	458
再生利用業者への処理委託量(単位:t)	0	1	10	7	5	0	0	23
認定熱回収集者への処理委託量(単位:t)	0	14	0	0	0	0	0	. 14
認定熱回収業者以外の熱回収を行 う業者への処理委託量(単位:t)	0	0	0	0	0	0	0	0





発生源	産廃の種類	中間処理	処理·処分
工場全体	0600廃プラスチック類 0300廃油 0200汚泥(スラッジ) 0800木くず(パレット) 1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶 0500廃アルカリ	●	管理型埋立 焼却 管理型埋立 破砕・分別 破砕・分別 リサイクル
	→ 0200汚泥(ワックス) 0400廃酸(前処理剤) 0600廃プラスチック類(塩ビパイプ)		管理型埋立 リサイクル リサイクル
	─→ 0200汚泥(ボンデスラッジ)	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	管理型埋立
	→ 0200汚泥(廃潤滑剤)		管理型埋立
加工工場	→ 0200汚泥(油泥)	-	焼却
排水処理場 —	→ 0200汚泥(脱水汚泥)	── フィルタープレス ── 脱水汚泥 ──	管理型埋立 委託処理の範囲